



# JAPIC NEWS

<http://www.japic.or.jp>

JAPIC  
JAPIC

JAPIC  
JOIS JAPICDOC

2002  
JAPICDOC

JAPIC  
JAPIC  
13

DB2002 7

No.145

10  
14  
15

## 《巻頭言》

# 「医薬情報の展開 - 次世代システムへの道」

名医の匙加減と新しい良薬開発を支援する医薬情報・知識システム

独立行政法人 工業所有権総合情報館

理事長 藤原 譲

(JAPIC 理事)

インターネット、パーソナルコンピュータの普及で、おおかたの人は便利な時代になったと感じておられるが、一方「情報洪水」、「情報過多」の時代とも言われる。たしかにデータベースやインターネットでキーワード検索すると驚く程の件数が該当することがよくある。それらは全て問い合わせに何らかの関係の有るものではあるが、問い合わせの意図が特殊であったり、専門的、先端的であると、肝心の情報になかなか辿り着けないことも往々にして起こる。

ところで古くからある表現で「多々益々弁ず」とは、漢書韓信伝にでているもので、漢の高祖と韓信が用兵の才について話をしたときに、才能の十分あるものには、兵が多ければ多いほど巧みに活用できるとの意味だとのことである。

日本医薬情報センターには医薬に関する内外の専門書や、独自に編集・刊行しているベストセラーの「一般薬日本医薬品集」と「医療薬日本医薬品集」はじめ各種の資料を整備し、広く情報提供を行っておられるユニークなセンターとしてよく知られている。情報の電子化にも早くから取り組み、主要な情報は JOIS や JIP の e-InfoStream を通じてインターネットでも提供されており、「日本医薬品集」は CD-ROM でも年 4 回発行されていて多数のユーザに利用されている。

また通常の図書館業務のみでなく、関連した業務として複写サービス、添付文書の SGML 化、PDF 化の代行入力、速報サービス、安全性情報の即日サービス、医薬品相談、各種調査なども提供しておられるので情報の収集から管理、加工、提供までの医薬情報の総合センターである。

一方医学、薬学の進歩は、遺伝子、蛋白などの悉皆的解析の国際的競争の激化もあり急速に展開しているので、医薬品の開発速度も急速に高まりつつある。このことの必要性はいうまでもないが、副作用や処方より適切な対応の支援要求も加速度的に増加することにつながるので、医薬品に関する情報サービスもこれまで以上に重要な役割を担うことになってきている。

そこで情報収集・提供事業をさらに展開拡張するために新しく設けられた開発企画部で添付文書データを活用して医薬品の適正使用や医療ミス防止を支援する「ファルマ・アシ

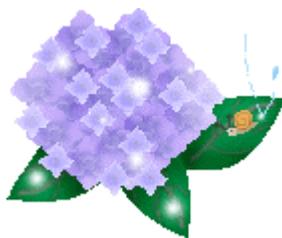
スト」を開発中であるとの報告（PharmaAssist JAPIC News No.208, 2001.7.27）もなされているがまことに時宜を得たものといえる。

一般的にこれまでの情報システムはキーワード検索により、候補の情報が表示され、結果を見て、必要なら検索式を修正して、検索をし直す。これを目的にあった結果が得られるまで繰り返すのが通常の使い方である。アクセスできる情報が多くなればなるほどこれは厄介な問題となる。この問題は情報処理の基本課題である意味処理に直結することで、これまでに試みられてきた様々な方法によっても現時点では未解決である。しかしながら多種多量の情報を種々の目的で利用するときには是非とも解決しなければならないことである。

また過ちを避けるだけでなく、症状に最適な処方を支援するシステムの開発は折角収集されている貴重な情報の有効利用のために必然の方向であり、さらに進めれば他の関連情報と併せて医薬の開発にも役立つものとなる。そのためにはこれまで以上に情報の網羅的収集および誤りの無い内容の検証・維持が要求されることになる。

情報化の進歩が急速であることで利用できる情報量も大幅に増大しているのであるから、これまでのようにコアとなる情報の収集・整備・提供に加え、関連する情報の収集も検討し直す時のようなものである。必ずしも直接収集するのみでなく必要に応じ利用できる体制も関係情報機関との連携で可能性が有ると思われまます。「ファルマ・アシスト」のような利用システムの開発提供はセンターの本来の趣旨から望ましい展開であり、医薬品の適切な処方、使用はもとより、より良い医薬品の開発に役立つ医薬情報の整備と利用システムの展開に向けて日本医薬情報センターの活動がこれまで以上に期待されていることへの最初の回答であると理解しています。

質の高い情報を漏れなく迅速に集め、適切に管理し、高度利用のために誤りのない情報を必要な所へ提供することは、現在の技術では解決できない問題が多数残っているので、極めて困難な作業であることは十分知られていることです。その上で情報の直接利用のためにも、高度な利用システムの開発のためにも「良い情報」は「多々益々弁ず」で、専門家の持つ知識と判断力と併せることで、これまでに培われた優れた医薬情報の提供と利用がさらに格段に進むことを期待する次第です。



## 《理事就任挨拶》



JAPIC 理事

田 中 瑞 穂

6月に開催された評議員会・理事会の了承を得て、7月1日付で理事に就任することとなりました。これまで主に業務部、総務部の事務部門において JAPIC の業務に従事してきました。

現在、行財政改革の一環として公益法人の見直しがすすめられており、公益法人を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあり、JAPIC もその例外ではありません。改めて責任の重さを感じております。

また、JAPIC が事業目的としている医薬品情報提供の分野では、行政を含めたあらゆるところから情報が発信されており、情報は溢れている感があります。

このような厳しい環境の中にあって、JAPIC はこれまでと同様、信頼され、正確で有用な医薬品情報の提供を心掛けるとともに透明性のある運営を目指して努力していきたいと考えております。会員の皆様方には今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



JAPIC 理事

中 村 陽 子

JAPIC の6月3日に開催された理事会及び6月7日に開催された評議員会の審議により、7月1日付けで理事を拝命致しました。

JAPIC は、平成13年度から“ユーザ・オリエンテッドな情報提供”を基本方針として、名実共に、医薬品情報の日本のセンターとしての機能を果たすべく業務を遂行してきております。昨年4月に JAPIC に採用され、医薬文献部門を中心に、JAPIC 文献データベースの作成や Q-サービスの提供業務を進めて参ったところです。平成14年度からは、上田慶二会長、首藤紘一理事長の就任による新しい体制のもと、“ユーザ・フレンドリーな情報提供”を目指して事業計画を遂行中でございます。今後、理事として、渉外・企画を担当することになります。直接、会員の皆様を御訪問させていただくこともあろうかと存じますが、JAPIC に対するユーザの皆様のご意見を真摯に聴きながら、ご要望にお応えできるよう精一杯努力して参りたいと思っております。

会員の皆様方には、なお一層のご支援とご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 「国際モダンホスピタルショー 2002」への出展

「新世紀の健康・医療・福祉 - 安心と信頼を求めて」をテーマに、7月17日(水)～19日(金)までの3日間にわたり、東京、有明の東京ビッグサイト(東京国際展示場)で「国際モダンホスピタルショー2002」が開催されます。

当センターでは、会場の医療情報システムゾーンE-73において、“JAPICの添付文書情報”(医薬品適正使用支援システム「ファルマ・アシスト」を含む)をメインに展示及び検索実演等を行う予定です。

(業務部 TEL.03-5466-1812)

## JAPIC データベース「JAPICDOC」の機能改良

JIP/e-InfoStream より提供している JAPIC データベースの「JAPICDOC (国内医薬文献抄録)」では7月1日(月) 午前9:00より以下の機能改良を行います。

### 1)「著者名」における検索方法の変更

これまで著者名の検索は姓名間に「スペース」を入れた形で指定、検索していただいていたが、各データベースでの検索方法の統一性を図るため、「スペースなし」で検索するようにいたします。これにより'79年からのデータも検索可能になります。

### 2) 検索項目の新設(「著者名」「所属機関名」「抄録」)

これまで「著者名・所属」と一つの検索項目であったものをそれぞれ独立した検索項目とします。また、「全体から」の中でしか検索できなかった「抄録」も独立した検索項目とします。

### 3) 検索項目「全体から」の名称変更と検索項目位置の変更

検索項目名「全体から」を「フリーキーワード」に名称変更し、項目の位置を一番上に移動させます。

### 4)「参照」にインデックス機能を付加

検索画面上で「参照」として用意している「JAPICDOC 会社名一覧(国内)(検索項目「会社名」での国内参照ボタン)、および「JAPICDOC 薬効 87分類一覧(検索項目「薬効」での参照ボタン)」のそれぞれにおいて、それぞれインデックス機能(頭文字を一覧で用意し、クリックすることで当該部に飛ぶ)を付加いたします。

(情報サービス部門 技術渉外部 TEL.03-5466-1924)

## JOIS「JAPICDOC ファイル」料金改定

科学技術振興事業団(JST)のJOIS「JAPICDOC ファイル」料金が平成14年7月1日より一部改定されます。従来のネットワークの廃止に伴い、新規ネットワーク(World Com)で提供されるため、ファイル接続料金が145円/分から157円/分となります。

(情報サービス部門 技術渉外部 TEL.03-5466-1924)

## 「JAPIC ユーザー会」報告



5月28日(火)東京長井記念館ホール、6月6日(木)大阪薬業年金会館で開催しました。昨年までは「業務担当者懇談会」の名称で毎年5月下旬に開催していましたが、今年度からもっと会員の皆様に JAPIC の情報サービスを活用していただく機会とし、業部担当者の方ばかりではなく、情報利用者の方にも参加していただくように、名称を

変更し新たに「JAPIC ユーザー会」として開催させていただくことになりました。

始めに今年度就任した首藤理事長からご挨拶を行い、続いて、JAPIC の「平成 14 年度事業計画の概要」について松本常務理事より説明を行いました。その後各種サービスの説明に移り、各部門より JAPIC 各種サービスの概要について、図書館の複写サービスと著作権、所蔵資料や学会情報の収集、「JAPIC Daily Mail」、「JAPIC Qサービス」、「JAPIC データベース」について説明を行いました。質疑応答では、たくさんの質問に対し、担当者から応答させていただきました。また、当日のアンケートでいただきましたご意見やご質問内容については、「まだ利用していないサービスの内容がわかって良かった」、「大阪でも開催され良かった。今後も機会を作って欲しい」、「サービスや事業内容が総合的にわかって良かった」など好意的な感想がほとんどでした。また、今後の新サービスのご提案・要望もいただきました。検討し、今後の改善に取り込んでいきたいと思えます。

終了後、4時から懇親会を行いました。ユーザー同士のお話、JAPIC 役職員との懇談、ご質問も活発で有意義な時間が流れ、盛況の内に終了致しました。

なお、当日の参加者は東京が 79 名、大阪が 42 名でした。お忙しい中、大勢の方にご出席いただきました。あらためまして、お礼を申し上げます。

(業務部 TEL.03-5466-1812)

## 「JAPIC データベース説明会」第 1 回目実施



6月20日、第1回目の「JAPIC データベース説明会」を開催いたしました。これは去る5月28日（東京）と6月6日（大阪）の「平成14年度 JAPIC ユーザ会」でご案内した新規サービスの一つで、「初めての JAPICDOC」として JAPICDOC 初心者を対象に開催された説明会です。JAPIC 会議室においてプロジェクター画面を用いて

説明し、JAPICDOC の背景としての JAPIC の成り立ちからはじめ、JAPICDOC の採択雑誌の選び方、採択法、キーワードなど、実際の検索まで、全体がわかる内容を心がけました。

実際の参加者には初心者以外に中堅者もおられましたが、説明中に質問もでき、どんな検索法が有効であるかなどの説明もあり、検索の‘コツ’がわかって今後の活用に役立つと好評をいただきました。また、検索法について、実際のなクロス検索の具体案を提案いただいたり、JAPIC にとっても参考になる有意義なものでした。

終了後、希望者に JAPIC 内を案内させていただきました。

第2回目も今回同様に「初めての JAPICDOC」として7月25日 15:30~17:30 を予定しています。JAPIC 会員の方ならどなたでも参加できます。初心者の方、JAPICDOC をこれから使われる方、お気軽にご参加ください。

（技術渉外部・業務部 TEL.03-5466-1812）

## 平成13年度事業報告・決算理事会，評議員会報告概要

第91回理事会及び第11回評議員会が開催されました。開催日及び議題は以下のとおりですが、議題はすべて承認・議決されました。

主なものとして役付理事の選任では、6月7日付で副会長に伊賀立二氏（日本薬剤師会副会長）、7月1日付で常勤理事として、田中瑞穂（JAPIC 総務部長）、中村陽子（JAPIC 医薬文献部門部長）の3人が選任されました。

また評議員の交代があり、木戸 脩氏（前 日本製薬工業協会理事長）が退任され、その

後任として6月3日付で 山辺日出男氏（日本製薬工業協会常務理事）が選出されました。

その他では、JAPIC 創立 30 周年を記念して 11 月 15 日（金）に「虎ノ門パストラル」において、記念講演会及び祝賀会を開催することとあわせて記念誌を発行することが了承されました。

なお、概ね順調に推移しご承認を得ました事業報告・決算報告は印刷でき次第、業務担当者の方へお送りさせていただきます。

**「第 91 回理事会」** 6 月 3 日（月） 14:00～16:00 当センター3階会議室

《主な議案項目》

1. 役付理事の選任等
2. 評議員の交代
3. 維持会員の承認
4. 平成 13 年度事業報告の承認
5. 平成 13 年度決算報告ならびに同監査報告の承認
6. その他
  - (1) 企画運営会議報告
  - (2) 平成 14 年度事業計画・予算書の配布と確認
  - (3) JAPIC 各種サービス料金表配布と内容の説明確認
  - (4) 春の叙勲・褒章受章者一覧
  - (5) その他

**「第 11 回評議員会」** 6 月 7 日（金） 14:00～16:00 当センター3階会議室

《主な議案項目》

1. 理事の選任
2. 維持会員の承認
3. 平成 13 年度事業報告の承認
4. 平成 13 年度決算報告ならびに同監査報告の承認
5. その他
  - (1) 評議員の交代
  - (2) 企画運営会議報告
  - (3) 平成 14 年度事業計画・予算書の配布と確認
  - (4) JAPIC 各種サービス料金表配布と内容の説明確認
  - (5) 春の叙勲・褒章受章者一覧
  - (6) その他

（総務部 TEL.03-5466-1811）



## 「日本医薬品集 DB 2002 年 7 月版」発刊のお知らせ

昨年 10 月発刊の「日本医薬品集 DB 2001 年 10 月版」の第 3 回データ更新版として、「日本医薬品集 DB 2002 年 7 月版」を 7 月末に発刊いたします。

今回の更新版では、一般薬データを、新発売品 588 品目を含む最新データ（2002 年 5 月までの JAPIC 入手分）に更新いたしました。医療薬データも前版発刊以降の改訂添付文書（2002 年 6 月までの JAPIC 入手分）、薬価基準新規収載品目〔2002 年 6 月 7 日分まで〕、報告品目〔2002 年 6 月 14 日分まで〕を反映しております。

価格(税・送料別)は「日本医薬品集 DB 2001 年 10 月版」、「2002 年 1 月版」あるいは「2002 年 4 月版」をお持ちの方は 10,000 円、「医療薬日本医薬品集 2002(第 25 版)」をお持ちの方は 23,000 円、その他の方は 35,000 円となっております。

(添付文書部門 日本医薬品集編集担当 TEL.03-5466-1825)

## 薬価基準追補収載品目の添付文書のご提供についてのお願い

7 月予定の薬価基準追補収載に向け、該当製品の添付文書のご提供をお願い致します。つきましては薬価基準収載後、JAPIC から依頼品目のリストと返信用封筒をお送り致しますので、添付文書をご返送下さい。なお、作成中などによりご提供にお時間がかかる場合は、その旨をご連絡下さいますようお願い申し上げます。

(添付文書部門 TEL.03-5466-1826)





◀ 新着資料案内 - 平成 14 年 5 月受け入れ ▶

この情報は JAPIC ホームページ <<http://www.japic.or.jp>>でもご覧頂けます。  
お問い合わせは図書館までお願いします。複写をご希望の方は所定の申込用紙でお申し込み下さい。  
電話番号 03-5466-1827 Fax No.03-5466-1818

- 図 書 -

1. ADVICE 医薬品副作用文献情報集 <薬効別副作用一覧編> 2001 [II]  
日本医薬情報センター 340p 2002
2. ADVICE 医薬品副作用文献情報集 <抄録集編> 2001 [II]  
日本医薬情報センター 423p 2002
3. ADVICE 医薬品副作用文献情報集 <医薬品副作用文献索引編> 2001 [I][III]  
日本医薬情報センター 123p 2002 (セット) ¥25,000
4. アルコールと健康 Health issues related to alcohol consumption 第2版  
Ian MacDonald 編 日本国際生命科学協会 299p 2001
5. 平成 13 年度(2001) アンケートによる将来動向調査報告書「再生医療の将来動向」  
(財) ヒューマンサイエンス振興財団 156p 2002 年 3 月
6. Compendium of nonprescription products 2001 (CNP)  
Canadian Pharmacists Association 648p 2001 ¥13,530  
カナダ薬剤師会が発行した非処方箋薬の医薬品集。製品情報には製品の解説の他、使用上の注意や過量投与、患者への服薬指導の情報が詳しく記載されている。
7. Compendium of pharmaceuticals and specialties (CPS) 2002 37th ed.  
Canadian Pharmacists Association 約 2,500p 2002 ¥30,240  
カナダ薬剤師会が医療従事者用に編集・発刊した医療用医薬品集。製品のモノグラフ、製品鑑別写真、臨床情報、製造・販売会社住所録、商品名・一般名索引からなる。

8. Drug topics red book 2002  
 Cohen, Harold E.ed. Thomson Medical Economics 840p 2002  
 ¥15,000  
 アメリカの価格表で通称「Red Book」。医薬品（処方箋用薬・OTC）と医薬部外品・医療用具等 15,000 以上を取り上げている。
9. 現行医学雑誌所在目録-2002 年度受入医・歯・薬学及関係誌 -  
 日本医学図書館協会 479p 2002 ¥12,000
10. ゲノム医療・創薬におけるインフォマティクスの動向 - バイオインフォマティクス、ケモインフォマティクス、システム生物学 - 調査  
 (財)ヒューマンサイエンス振興財団 208p 2002
11. ゲノム科学の進展と医薬品開発環境の変化 規制動向調査報告書 (HS レポート No.37)  
 (財)ヒューマンサイエンス振興財団 208p 2002
12. 改訂 一般用漢方製剤使用上の注意 - 解説 -  
 日本漢方生薬製剤協会 じほう 542p 2002 ¥6,500
13. 医薬品製造（輸入）承認品目一覧 2001 年  
 日本医薬情報センター 101p 2002
14. 研究利用を目的としたヒト組織バンクに関する調査 調査報告書平成 13 年度  
 (財)ヒューマンサイエンス振興財団 49p 2002
15. 緊急安全性情報 平成 14 年 04 月 (02-1)  
 日本イーライリリー株式会社 4p 2002
16. 平成 13 年度(2001) 国内基盤技術調査報告書 - 予防医療に関する調査 -  
 (財)ヒューマンサイエンス振興財団 88p 2002
17. 今日の治療薬 解説と便覧 2002  
 水島 裕 編著 南江堂 153p 2002 ¥4,600
18. 厚生統計要覧 平成 13 年版  
 厚生労働省大臣官房統計情報部 厚生統計協会 364p 2002  
 ¥2,800

19. L'Informatore farmaceutico 2002 62edizione  
 O.E.M.F 3分冊 2002 ¥46,000  
 イタリアの医薬品集。現在イタリアで販売されている製造または平行輸入医薬品、既包装一般名医薬品、アレルゲン、医療用具を収載している。
20. Medicines compendium 2002  
 Datapharm Communications Ltd. 2,357p 2002 ¥28,820  
 イギリスの医薬品集。2002年版から書名変更となった。前版までは ABPI Data sheet Compendium としてなじみ深かった。
21. National toxicology program annual plan for fiscal year 2001  
 Department of Health and Human Services 86p 2002
22. PDR ND 23nd ed.2002 -Physicians' desk reference for nonprescription drugs dietary supplements  
 Medical Economics 856p 2002 ¥11,790  
 アメリカの非処方箋薬、栄養補助品、自己診断薬キット、その他の家庭用医療用品について解説している医薬品集。PDRの姉妹編。
23. プライマリケアのための痴呆診療技術  
 河野和彦 フジメディカル出版 198p 2002 ¥4,500
24. レセプト事務のための薬効・薬価リスト 平成14年版  
 医薬情報研究所 編 じほう 756p 2002 ¥6,500
25. Rote liste 2002 - Arzneimittelverzeichnis für Deutschland  
 Rote Liste Service GmbH Editio Cantor 1v 2002 ¥10,740  
 ドイツの医薬品集。処方箋用薬、OTC薬、非OTC薬が含まれる。製品モノグラフ、服薬指導表、企業住所録、麻薬取締法・麻薬処方、医師による処方箋交付についての規制などの情報が収載されている。
26. 最近の新薬 2002 (薬事日報版 2002年度版)  
 薬事日報社 344p 2002 ¥4,300
27. Seamic health statistics 2001  
 SEAMIC/IMFJ (日本国際医療団) 2002 294p
28. 専門図書館と著作権 Q&A 2002  
 専門図書館協議会 30p 2002 ¥700

29. 専門図書館運営の現状と課題

専門図書館協議会 99p 2002

30. USP dictionary of USAN and international drug names 2002

USP Conventions, Inc. 1,245p 2002 ¥53,800

アメリカの医薬品の一般的名称集。1961年6月15日から2001年1月31日までを累積しており、USPやNF収載名、INN、BAN、JANなどの他の一般的名称、CAS登録番号などが収載されている。

31. 薬事ハンドブック 2002

じほう 447p 2002 ¥2,400

- CD-ROM -

1. 日本医薬品集 DB 2002年4月版 特価版(2002年4月データ) CD-ROM

日本医薬情報センター・じほう 2002 ¥23,000

- WHO から -

1. WHO Technical Report Series

No.902 WHO expert committee on specifications for pharmaceutical Preparations.36<sup>th</sup> report/ 208p

No.905 Control of chagas disease.2<sup>nd</sup> report of the WHO expert committee/109p

- その他 -

1. 北里大学研究年報 平成12年度(その1)

学校法人北里学園 2002 225p

2. 熱帯海域及び生物物における深層水利用の調査研究 / 日本財団助成事業

平成13年度研究成果報告書 平成14年4月

沖縄県海洋深層水開発共同組合 2002 173p



先月末から今月いっぱいにかけて行われる日韓共催のサッカーのワールドカップで日本中が沸いております。4年に一度のワールドカップの年は経済危機の年ともいわれておりますように、日本経済の3月危機説もそのジンクスにあたるのかも。一方では、連日のサッカーの賑わいと日本チームの大健闘（惜しくも8強には入れなかったが）が不景気を吹っ飛ばし、景気回復の起爆剤になってくれれば、と願っております。

製薬企業の決算発表も終わりましたが、企業間の収益格差が拡大しているようで、各社がそれぞれ生存権を賭けた戦略の構築をされているニュースが散見されます。

当センターでも、今月の理事会、評議員会におきまして平成13年度の事業報告、収支決算報告が審議され、承認されました。各事業および決算も所期目標を達成することができました。これも会員各位のご支援、ご協力の賜であると感謝いたしております。

また、同両会におきまして、7月1日付けで当センター内部から田中瑞穂・総務部長と中村陽子・医薬文献部門部長が常勤理事に登用されることになりました。これを機に当センターが自立に向かって組織内の責任体制を確立し、存在価値のあるJAPICを目指して役職員一同努力していく所存であります。

度々申しておりますように、当センターの本年度の大目標として“ユーザ・オリエンテッド、ユーザ・フレンドリー”を掲げております。その一環としまして、本年度から東京（5月28日）と大阪（6月6日）でJAPICユーザ会を開催しました。双方とも多くの会員の方々に参加して頂きました。その中で、いろいろと貴重なご意見を頂きました。これらのご意見を参考にさせて頂き、今後のサービスに活かしていきたいと思っております。

同じ趣旨で、6月25日には日薬連・情報部会の幹部の方々と当センターの管理職との情報交流会も行いました。ここでもユーザ・ニーズを軸にした貴重な情報、ご意見を頂戴いたしました。

会員各位へのサービスの一環としまして開催しました6月24日の第40回JAPIC講演会（テーマ：医薬品情報の活用）にも多数（200名以上）ご参加頂き、盛況な実りある講演会となりました。

梅雨期に入り天候不順の上、サッカーのワールドカップの最終結果がでないうちに原稿締切になり、不快指数が高まっております。各位にはご自愛を祈念申し上げます。

（K.M）





- ・平成14年6月1日から6月30日の期間に提供しました情報は次の通りです。
- ・出版物がお手許に届いていない場合は当センター業務部（TEL.03 - 5466 - 1812）にお問い合わせ下さい。

情 報 提 供 一 覧	発行日等
<出 版 物 等>	
1. 「医薬関連情報」6月号	6月28日
2. 「Regulations View」No.82	6月28日
3. 「CONTENTS」No.1506～1509	毎週月曜日
4. 「国内医薬品添付文書情報」No.195	6月20日
5. 「日本医薬文献抄録集」02シリーズ版（2）	6月末予定
6. 「医薬品副作用文献速報」7月号	6月末予定
7. 「JAPIC NEWS」No.219	6月28日
<速報サービス>	
1. 「各国副作用関連情報誌のコンテンツ速報FAXサービス」	随 時
2. 「医薬関連情報 速報FAXサービス」No.341～344	毎 週
3. 「JAPIC - Q（医薬文献・学会情報速報サービス）」	毎 週
4. 「JAPIC Daily Mail（外国政府等の医薬品・医療用具の安全性に関する措置情報サービス）」No.263～282	毎 日

<p style="text-align: center;">データベース一覧</p> <p style="text-align: center;">1～7のデータベースのメンテナンス状況はJIPホームページ (<a href="http://Infostream.jip.co.jp/">http://Infostream.jip.co.jp/</a>)でもご覧いただけます。</p>	更新日
<JIP e-InfoStreamから提供>	
1. 「JAPICDOC速報版（日本医薬文献抄録速報版）」	6月 7日
2. 「JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」	6月 7日
3. 「ADVISE（医薬品副作用文献情報）」	6月 6日
4. 「MMPLAN（学会開催予定）」	6月 7日
5. 「SOCIE（医薬関連学会演題情報）」	6月 7日
6. 「NewPINS（新添付文書情報）」（月2回更新）	5月30日 6月末予定
7. 「SHOUNIN（承認品目情報）」	6月 6日
<JST JOISから提供>	
「JAPICDOC（日本医薬文献抄録）」	6月中旬

当センターが提供する情報を使用する場合は、著作権の問題がありますので、その都度事前に当センター業務部（TEL.03 - 5466 - 1812）を通じて許諾を得てください。

===== 財団法人 日本医薬情報センター  
 禁無断転載 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15  
 JAPIC NEWS 1984.4.27 No.1 発行 長井記念館 3階  
 毎月1回(最終金曜日)発行 TEL 03(5466)1811 FAX 03(5466)1814